

J-クレジット制度管理者御中

## 実績確認概要書

平成 30 年 2 月 6 日

審査機関名 一般財団法人日本品質保証機構

### 1. 排出削減事業の概要

排出削減事業名	酒造工場におけるボイラーの更新 (A 重油→LPG)
承認番号	JCDM-KC1316
排出削減事業者名	若鶴酒造株式会社
排出削減共同実施事業者名	一般社団法人低炭素投資促進機構
事業実施場所	若鶴酒造株式会社 本社工場 (富山県砺波市三郎丸 208 番地)
事業の概要	これまで使用していた A 重油ボイラーを高効率の LPG ボイラーに更新することにより、エネルギーの使用の合理化を進め、二酸化炭素排出量の削減を図る。
排出削減量の計画	2012 年度 : 89 tCO <sub>2</sub> /年 (2012 年 10 月 17 日～) 2013～2016 年度 : 205 t CO <sub>2</sub> /年 2017 年度 : 111 t CO <sub>2</sub> /年 (～2017 年 10 月 16 日) (事業実施期間合計 : 1,020 tCO <sub>2</sub> )
クレジット認証期間	事業開始日 2012 年 10 月 17 日 終了予定日 2017 年 10 月 16 日 ※J-クレジット制度への移行手続きにより、終了予定日は 2017 年 10 月 16 日となっている。
排出削減方法論	方法論番号 001 ボイラーの更新

## 2. 本実績確認の対象期間

2015年4月1日～2017年10月16日（第3回目実績報告）

## 3. 実績確認結果

本実績確認期間における排出削減量は、承認排出削減事業計画に従ってモニタリングされた結果に基づき算定されており適正である。

排出削減量	490 tCO <sub>2</sub> （2015年4月1日～2017年10月16日）
-------	--

## 4. 実施した実績確認手続きの概要

以下の実績確認手続きにより、報告された排出削減量に重大な誤りがないことを確認している。

要件	審査手続き
排出削減量が承認排出削減計画に従って実施した結果生じていること。	1) 開始日の確認（初回実績確認の場合） 初回実績確認ではないため、確認の手続きは実施していない。 2) 対象期間中の設備稼働の確認 設備の計測データ、排出削減事業関係者へのヒアリング及び現地目視により、導入設備は実績報告期間において継続的に稼働していたことを確認した。
排出削減量が承認排出削減方法論及び承認排出削減事業計画に従って算定されていること	1) モニタリング方法の確認 設備の計測データ、仕様書、機器表及び排出削減事業関係者へのヒアリング及び現地目視により、モニタリング方法が方法論及び当該削減計画に沿って実施されていたことを確認した。 2) 活動量の正確性 設備の計測データ、排出削減事業関係者へのヒアリング及び現地目視により、活動量の記録・保存は適切になされており、活動量が正確に集計されていることを確認した。 3) 単位発熱量、排出係数等の係数の確認 仕様書、機器表、排出削減事業関係者へのヒアリング並びにJ-クレジット制度のモニタリング・算定規程（排出削減プロジェクト用）Ver.2.9により、排出削減量の算定式及び使用されている単位発熱量、排出係数等は方法論及び承認排出削減事業計画通りであることを確認した。

	4) 排出削減量算定方法及び算定結果の確認 排出削減量の算定結果について、突合した活動量・係数等による計算過程の確認、再計算等実施した結果、排出削減量の算定結果に大きな誤りはないことを確認した。
算定結果がクレジット認証期間の終了日を超えないこと	今回の実績確認対象期間は2015年4月1日から2017年10月16日までとなっているが、J-クレジット制度への移行手続きにより、終了予定日は2017年10月16日となっているため、当該算定結果は適切であることを確認した。

## 5. 承認排出削減事業計画からの重要な変更点についての評価

本実績確認期間の実績確認の結果、承認排出削減事業計画からの重要な変更点がないことを確認した。

## 6. 特記事項

本実績確認期間における省エネルギー量は、原油換算 119.7 kL、熱量換算 4,641 GJであることを確認した。

以 上